

令和6年度使用小学校教科用図書
第4回大村市教科用図書採択協議会 議事概要

期 日：令和5年7月26日（水）

場 所：大村市中央公民館（コミュニティセンター）第3会議室

出席者：会長、採択委員A～F

家庭選定委員長

音楽選定委員長

道徳選定委員長

英語選定委員長

事務局職員

議 事：「家庭」「音楽」「道徳」「英語」の教科書採択

開 会
事務局

○本日協議する教科の確認。
・家庭、音楽、道徳、外国語科英語の協議を行っていただく。

開会あいさつ
会 長

(略)

司 会：会 長

「家庭」教科書についての協議及び採択

選定委員長

【報 告】

・選定委員長が選定委員会報告書を用いて各者の特長等を説明。

会 長

【質疑応答】

・A者B者において、よい点をたくさん出していただいたが、これはもう少し足りないのではないか等という点はないか。

選定委員長

・A者は子供たちへのガイド的な内容は豊かだが、反面、少しごちゃっとした感じを受ける。逆にB者は、その辺りはすっきりしているが、子供たちが実際に使用する場面や子供たちが手がかりにする部分に関しては、物足りない部分があると感じる。

会 長

・家族で何か考えよう等の内容はA者B者ともなかったか。

選定委員長

・発展的学習は両者とも、考慮してある。

【協議】

- 委員A ・ A者の巻頭のP3～4に、学習の進め方が分かりやすく書いてある。また、P8～9の衛生安全に気を付けて実習をしようという箇所がまとめて書いてあるので、子どもたちは分かりやすいと思う。小学校での調理実習では、コンロや包丁など普段扱っていないものを扱い、火傷が起きたりすることが考えられるので、このように衛生安全のことをしっかりと、まとめて書いてあるのは、指導する側も学ぶ側も使いやすくてよい。
- 委員C ・ 道具の使い方等の記載では、A者が、だめな使い方についてもしっかりと書いてあり、とても比較しやすく見やすいと感じた。更にまとめて記載してあり、B者に比べて見やすいと感じた。
- 委員D ・ 調理実習の準備の箇所で、A者は、右利き・左利きについての記載がある。B者は、握り方・持ち方・持つ姿勢を書いてあるが、初めて調理実習をする子どもたちにとって、より詳しく説明してあるのは、A者だと感じた。(A者P10～11、B者P14～15)
- 会 長 ・ 最近右利き・左利きをあまり気にしないで育ててきている。左利きの子どもも多い。両方使える子どももいる。そういう意味では、A者の方が取扱いがより丁寧ではないかという意見である。
- 会 長 ・ これで意見を終了してよろしいか。
- 委員一同 (意見無し)
- 会 長 ・ 家庭科については、A者としてよろしいか。
- 委員一同 ・ 異議なし。
- 会 長 ・ 家庭科については、「A者」とする。

「音楽」教科書についての協議及び採択

【報告】

選定委員長 ・ 選定委員長が選定委員会報告書を用いて各者の特長等を説明。

【質疑応答】

委員B ・ QRコードについて、内容説明を。

選定委員長 ・ どちらの者のQRコード活用についても、内容自体はそれほど差はない。

委員F ・ 「見つける」「考える」といった吹き出し部分について説明を。

選定委員長 ・ 子供たちの興味を高め、内容を理解しやすくしている。

会 長 ・ SDGsについてはどうか。

選定委員長 ・ 特になし。

会 長 ・ 楽器の紹介についてはどうか。

選定委員長 ・ 鍵盤ハーモニカは1年生で、リコーダー（縦笛）は3年生で紹介がある。

事務局 ・ オーケストラは、A者B者ともに、6年生のp16で紹介されている。

【協議】

委員B ・ 全体を通して、A者の方が、写真がきれい。イメージしやすい写真があるのがA者。細かい部分での差はあまりないのに、得点差があるのが分からない。

委員F ・ B者の方は、「見つける」「考える」「歌う」という吹き出しがあり、子供が見通しをもてる。
・ 振り返りのページが工夫されている。
・ 担任が指導するときに、見通しがもてるような吹き出しがある方が、使いやすい。

委員A ・ A者の方が情報量が少ない。
・ 「見つける」「考える」「歌う」というところで、教師も子供も同じ方向を向けるというのは、B者のよさ。

会 長 ・ 君が代のレイアウトについては、両者とも同じような工夫が見られる。

委員D ・ B者の方が、リコーダーの説明が詳しい。

- ・習ったことが、一目で分かるようにしてあり見直しやまとめがしやすい。
- 会 長 ・音楽については、「B者」としてよろしいか。
- 委員F ・Aの方がとてもインパクトが強い。専科の先生でないときには、Bの方がよい。
- 委員B ・Bの方が、観点がとても分かりやすい。
- 会 長 ・いろいろと長時間がかかって、B者ということになったと思う。その意見を尊重して、B者でよろしいか。
- 委員一同 ・異議なし。
- 会 長 ・音楽については、「B者」に決定する。

「道徳」教科書についての協議及び採択

【報 告】

選定委員長 ・選定委員長が選定委員会報告書を用いて各者の特長等を説明。

【質疑応答】

会 長 ・見出しに「生きる力」等の他の言葉を使っているのは、他にあるか。

選定委員長 ・タイトルは深く見ていなかった。

会 長 ・「生きる力」という、キャッチコピーが入っているのは、非常に好印象だと思う。

委員E ・SDGsについて教えるのは、何年生か。

選定委員長 ・すべての学年に配置されている。低学年はそこまで深い内容にはなっていない。

委員E ・子どもたちは道徳ノートをどのように使っているのか。

選定委員長 ・自分が考えたことや、成長したと思うこと等を書いている。上部は四角の枠になっており、文章を書くのが苦手な子どもでも絵で描けるよう配慮されている。一般的なノートを購入して使うこともできるが、用意されているのはありがたい。

会 長 ・長崎県や大村にちなんだ話題はなかったか。

選定委員長 ・A者には、長崎県出身の MISIA が載っている。九州北部豪雨や波佐見焼、諫早市の内村選手を取り上げている教科書もあった。

【協議】

会 長 ・前はスポーツに関する記事が多かった。今回は分野的にはバラエティに富んでいる。石井筆子が載っていればいいのだが。障害児教育の第一人者である。

委員E ・A者の「さばくを緑の農地に」に、中村哲医師のことが載っている。とてもよい内容。報告によると、D者はこれまで使用して効果があったという評価なので、D者がよいと思うが、D者にも中村医師を取り上げてもらいたい。

会 長 ・中村医師は福岡出身。功績は絶大である。D者には載っていないようだ。

委員D ・いじめの問題をD者は3回に分けたり、色分けしたりしていて分かりやすい。A者は目次だけでは判断しにくい。表紙に一言入っているところはA者もいいと思う。

委員F	・道徳ノートは非常に重要。評価に生かすことができる。目次を見ると、A者は暗い。D者「道徳のとびら」には、「自分」「周りの人」等の図があり捉えやすい。「道徳の学び方」では、D者は「見つめる」「生かす」、A者は「深める」「広げる」とある。子どもたちには、「見つめる」「生かす」の方が捉えやすいと感じた。
委員C	・どちらも「保護者の皆様へ」があるが、D者の方が考えて編集しているように感じた。
委員B	・道徳ノートの役目は大きいと思う。また、全体的にD者の方が見やすい。挿し絵も構成もよい。いじめ問題を年3回繰り返し取り扱っている。情報モラルやSDGsについても、今何を伝えるべきかを考えて構成されているのはD者だと思った。
委員A	・いじめについて、D者の方がより丁寧に取り扱っている。どちらも「いじめと法律」の内容があるが、D者は、意見交流して自分たちの問題として考えることができる。また、子どもたちは道徳ノートに慣れているので、なくなると混乱するかもしれない。
会長	・意見を終結する。道徳については、D者としてよろしいか。
委員一同	・異議なし。
会長	・道徳については、「D者」に決定する。

「外国語科英語」教科書についての協議及び採択

- 選定委員長 ・ 選定委員長が選定委員会報告書を用いて各者の特長等を説明。
- 委員A 【質疑応答】
・ 観点2（3）「主体的に学習に取り組む態度を身に付けるよう工夫されている」では、B者に◎が付いているが、具体的にどのようなところか。
- 選定委員長 ・ B者の各單元には、学習する範囲や内容が明確に示してあり、主体的な学習が仕組めるということで、◎にしている。
- 会 長 ・ 本時が何時間目だと分かるということか。
- 選定委員長 ・ 学習するページを開けば、はっきりと分かるようになっている。
- 会 長 ・ My Picture Dictionary と Word Book の違いは。
- 選定委員長 ・ A者は1冊、B者は2冊構成である。B者6年生は中学校の内容及あり、中学校との連携が意識されている。
- 会 長 ・ 1冊と2冊どちらがよいと考えるか。
- 選定委員長 ・ 2年間同じものを使うということは繰り返しができるということ。しかし、B者の方も2冊の内容としてはほぼ同じなので、繰り返しもできると考える。
- 会 長 ・ 教科書でリスニングはどのように行うのか。
- 選定委員長 ・ Let's Listen というコーナーがある。
- 会 長 ・ ALT が入って「聞く」「話す」はかなり鍛えられているのではないか。
- 選定委員長 ・ ALT や担任との会話をとおして、英語のシャワーを浴びさせることが大切である。
- 委員A 【協 議】
・ 外国語活動からの繋がりを考えると、B者「3、4年生で学習したこと」では、これまでの学習を振り返り、5年生の学習に入ることができる。クラスルームイングリッシュにも丁寧に触れている。練習問題もB者の方が分かりやすい問い方をしている。ワードブックは、無くした場合を考えると6年生でも付いているのは親切でいい。
- 委員B ・ My Picture Dictionary と Word Book は、1冊で5、6年生通して使えるので、A者

がいいと思う。内容や見やすさ、要点のまとめ方等はB者が分かりやすく、細かいところまで非常に丁寧だと感じた。

委員C ・ Word Book は2冊に分かれているが、内容は重複が多い。それならば、1冊にまとまっているAの方が内容が充実していると思った。

委員D ・両者ともマークが付いているが、一目でこれは動画が見られるとか、音を聞いて答えるということがBの方が分かりやすい。

委員E ・聞いた話では、リスニングの耳ができるのは2年生だそう。3、4年生で付けた力が、5、6年生にどう繋がるのか。継続してそういう力を伸ばせるような教科書がいい。

委員F ・B者はCAN-DOチェックが一覧になっているので、子どもたちが自分で確認できて見やすい。書く活動はどちらも差がないが、教科書の厚さからB者の内容が充実している。

会 長 ・意見を終結する。英語については、B者としてよろしいか。

委員一同 ・異議なし

会 長 ・英語については、B者とする。

協議結果の確認

会 長 ・事務局から本日の協議結果について確認をお願いしたい。

事務局 ・本日の協議の結果、家庭はA者、音楽はB者、同時はD者、英語はB者を採択候補と確認した。

会 長 ・以上で、本日の協議を終了する。

閉会行事

教育政策監挨拶

(略)